

供用中のインフラ施設を活用した新技術実証のしくみ構築

— 愛知アクセラレートフィールドの概要 —

松林 卓*1・太田 健司*1・笹倉 伸晃*2・山本 達生*2・中島 良光*3・山本 和範*3

Creating of a System which New Technology is Verified by Utilizing Infrastructure in Service

Taku MATSUBAYASHI, Kenji OHTA, Nobuaki SASAKURA, Tatsuo YAMAMOTO, Yoshimitsu NAKAJIMA, Kazunori YAMAMOTO

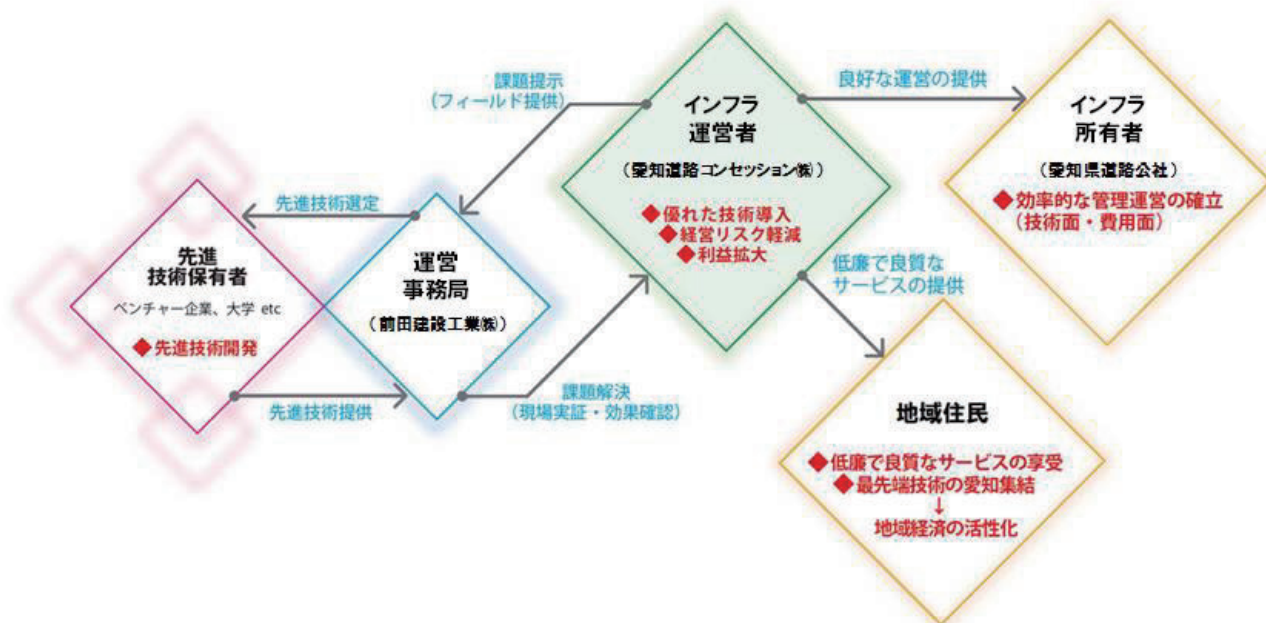


図-1 愛知アクセラレートフィールドのスキーム

研究の目的

ベンチャー企業や大学などの先進技術保有者に対して供用中のインフラ施設を技術実証フィールドとして提供するしくみを構築することにより、先進技術の社会実装の支援、インフラ運営の効率化、地域住民に対する低コストで高品質なサービスの提供を同時に実現することを目的とする。

技術の説明

愛知県道路コンセッション(株)が構築したしくみ「愛知アクセラレートフィールド」の特長は次に示す3点である。

- ①実際に供用されているインフラ施設を無償で利用し、新技術の実証ができる。
- ②建設関連のみならずAI、ICTなど業界を問わず誰でも参加することができる。
- ③新技術の効果が確認されたものについてはインフラ運営実務で積極的に活用する。本しくみの運用により、先進技術保有者は、通常立ち入ることが難しい実際に供用されている橋梁・トンネル等で新技術の実証を行うことができるため、新技術の開発が促進される。一方、インフラ運営者は、運営上の課題および要求される技術水準を第三者にオープンにすることによって早期に先進的な技術を集めることができるため、速やかにインフラ運営の効率化を図るとともに、地域住民に対して低コストで高品質なサービスを提供することができる。

主な結論

しくみの運用開始に先立ち、参加者の選定基準や知的財産の帰属、費用負担や安全上の責任などについて取り決めを行うとともに、効率的に情報発信および収集を行うための公式ホームページ (<https://www.acceleratefield.com/>) を制作した。さらに、技術実証の試行を行った。

*1 本店 技術研究所
*3 愛知県道路コンセッション株式会社 道路運用部

*2 本店 土木事業本部 土木技術部